

平成29年度食品スーパーマーケット調査結果

経営上の問題は「労働力の確保」が2年連続でトップ！

静岡市内の食品スーパーマーケットの現況把握のため、前年度の調査内容を一部見直し、実態調査を実施した。
 (協力：静岡大型店スーパーマーケット連合会)

◆調査時期 平成29年6月

◆調査対象 静岡市内に店舗をおく食品スーパーマーケット108店

(※売場面積250㎡以上の店舗)

◆調査方法 郵送によるアンケート方式

◆回答店舗 82店(回答率75.9%)

表面化している経営上の問題について

現在表面化している経営上の問題については、前回の調査から追加した「労働力の確保」が69.5%と約7割を占め、2年連続第1位となった。

「価格競争の激化」が52.4%で第2位、続く「人件費の増加」が35.4%で第3位と、雇用に関する問題が

(表1)

| 順位 | | 問題の内容 | 割合(%) |
|--------|--------|--------------------------------|-------|
| 平成29年度 | 平成28年度 | | |
| 1 | 1 | 労働力の確保 | 69.5 |
| 2 | 2 | 価格競争の激化 | 52.4 |
| 3 | 3 | 人件費の増加 | 35.4 |
| 4 | 4 | 他業種(コンビニ、ドラッグストア、ホームセンター等)との競合 | 24.4 |
| 5 | 6 | 店舗の老朽化 | 23.2 |
| 6 | 5 | 近隣への同業店の進出 | 20.7 |
| 7 | 7 | 消費者ニーズの変化 | 18.3 |
| 8 | 9 | 客単価の低下・低迷 | 15.9 |
| 9 | 10 | 仕入コストの上昇 | 14.6 |
| 10 | 8 | 顧客の他地域への流出 | 12.2 |
| 11 | 11 | 駐車場の確保難 | 6.1 |
| 12 | — | その他 | 2.4 |

上位にランキングされている。

以下「他業種(コンビニ、ドラッグストア、ホームセンター等)との競合」が24.4%で第4位となり、第2位の「価格競争の激化」を含め、価格競争・競合の激化が雇用が続いての重要な問題となっている。

(表1)

経営上の問題点に対する対応策について

経営上の問題点に対する対応策は「サービスの見直し」と「経費削減の推進」がそれぞれ80.5%、79.3%と、約8割の店舗で挙げられている。以下「仕入調達の見直し」56.1%、「プライベートブランド(PB)商品の充実・構成比の引き上げ」42.7%となっている。

(表2-①)

サービスの見直しの具体的内容は「鮮度チェックの徹底」が61.0%で最も多く、以下「惣菜部門の強化」

(表2-①)

| 順位 | | 対応策の内容 | 割合(%) |
|--------|--------|------------------------------|-------|
| 平成29年度 | 平成28年度 | | |
| 1 | 2 | サービスの見直し | 80.5 |
| 2 | 1 | 経費削減の推進 | 79.3 |
| 3 | 3 | 仕入調達の見直し | 56.1 |
| 4 | 4 | プライベートブランド(PB)商品の充実・構成比の引き上げ | 42.7 |
| 5 | 5 | 他社との価格比較の徹底 | 26.8 |
| 6 | 6 | その他の対応策 | 7.3 |

34.1%、「支払方法の多様化」32.9%の順となった。

(表2-②)

